

Journal of Environmental Information Science Vol.42, No.5
PUBLICATION POLICIES AND PREPARATION OF MANUSCRIPTS

執筆要領

(一社)環境情報科学センター
英文誌刊行等委員会

1. 投稿に際しては事前にネイティブ・チェックを必ず行うこと。

2. 原稿の体裁

原稿は任意の A4 用紙 (刷り上がり B5 版) を用い, 完全版下原稿を作成する。ワープロなどを使用し, 別紙見本に示すように A4 用紙の指定された範囲に直接印字する。この際・左右・天地のマージンは厳守すること。また, 活字の大きさ・書体は別紙見本の指定にあわせること。

3. 原稿分量

原稿分量は 1 頁=46 ライン×2 段組 (表題頁の本文行数は最低 1 段 20 ラインとること) で, 表題, 執筆者名, 要旨, 図表等も含めて 6 頁から 8 頁 (またこれ以上の頁を必要とする場合には, 1 頁あたり 1 万円を徴収する。最大 12 頁まで) とし, 偶数ページに限る。これ以外の頁数は受け付けない。

4. 原稿構成

原稿は次の各項に従って作成すること。とくに文献リストの記載方法に関しては遵守すること。また審査の公正を保持するため, 論文本文中に著者が特定できるような表現は避けること。

(1) 表題・著者名・著者所属・要旨・構成等

○別紙見本に示すように・本文の 1 頁目に, 欧文表題, 欧文著者名, 欧文要約 (15 ライン以内), 欧文キーワード (6 個以内) また同頁の脚注に著者の所属機関名を英字記載する。また, 本文は INTRODUCTION, METHODS, RESULTS, DISCUSSION (or RESULTS AND DISCUSSION), CONCLUSIONS に分け記述し, 以下に ACKNOWLEDGEMENTS, NOTES, REFERENCES を記述すること。

○所属は, 大学・学部・学科, 会社名・部・課のように 3 項目以内で記載する。なお, 職名は記載してはならない。また執筆者が複数の場合は第 1 執筆者に*, 第 2 執筆者に**の記号を付ける。

○本文の最終頁には, 補注, 文献リストを記載する。

(2) 本文

○本文の見出しは, 1・・・・, 1・1・・・・, 1)・・・・, (1)・・・・, ①・・・・という順序に統一させる。INTRODUCTION, CONCLUSIONS には数字をふらない。見出しは, 本文より 1 字分下げること。

○本文中で補注を必要とする場合には 1), 2), ~n) の記号で本文該当箇所の右肩に明示する。

○本文中の文献引用は・著者の姓（まぎわらしいときには名を併用），発表年を書く。

例：・Yamasaki, A. *et al.* (1986)

・Yamasaki, A. and Maeda, B. (1993)

(3) 補注・文献リスト

○補注は文献リストの前一括掲載する。

○インターネット上の情報を引用する場合には補注として扱い，著者またはホームページ作成者・運営者名・最新更新日・記事のタイトル，URL，参照時の年月日を明記する。

例：Ministry of the Environment (03/29/2004 updated) MOE PRTR data page.

<<http://www.prtr-Info.jp/prtrinfor/Index.htm>>, 10/25/2004 referred.

○文献リストに掲載する文献は，本文中に引用した文献に限る。著者名のアルファベット順に下記の記載形式にしたがって掲載する。同じ著者の同一年のものは，引用順に (1992a) などのように，a, b, c を付して並べる。

①雑誌中の論文の場合：

著者名（発表年） 論文名. 掲載雑誌名，掲載巻号（巻がなく号だけのものはNo. 6のように書く），掲載頁最初～最後.

例：Sugimura, K., Yamada, F. and Miyamoto, A. (2003) Population trend, habitat changes and conservation of the unique wildlife species on the Amami Island, Japan. *Global Environmental Research*, No.7, 79～89.

②単行本の場合：

著者名（発表年）書名. 出版社名，出版社所在地，総頁数.

例：Takacs, D. (1996) *The Idea of Biodiversity: Philosophies of Paradise*. The Johns Hopkins University Press, Baltimore and London, 393pp.

③編著図書あるいは論文集・論文集中論文の場合：

著者名（発表年）論文名. “書名”（編者名），掲載頁最初～最後，出版社名，出版社所在地.

例：Nicholas, V., Brokaw, L. and Lent, R.A. (1999) Vertical structure. In: Hunter, M. L., ed., “Maintaining Biodiversity in Forest Ecosystems”, pp.373～399, Cambridge University Press, Cambridge, UK.

(4) 図・表・写真

○図表は・完全版下を当該位置にそのまま貼付すること。なお，本版下は B5 版に縮小されるので，その場合にも十分判読できるものにする。コンピュータを用いて作成した図表等は鮮明な原本に限る。

○図表の細部や文字は縮小されるので，刷り上がりの大きさを考え細かすぎないように作成する。

○タイトルについては，表は上・図と写真は下に，それぞれ連番をつけて入れる（Table1, Fig.1, Picture 1 など）。

○図表・写真は，頁の天地に寄せて割り付ける。文章と文章の間に図表をはさまないこと。

【図表レイアウト例】

Table 3*****



Fig. 3 *****

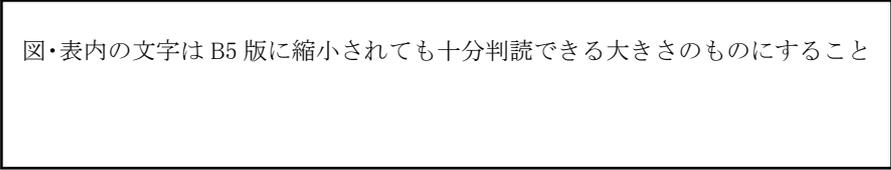
Fig. 4 *****



悪い例 ①文章の間にはさまれている。
②図表枠がもう一方の段まではみ出している。

Fig. 5 *****

Table 4 *****



図・表内の文字は B5 版に縮小されても十分判読できる大きさのものにすること

2012 年 7 月改定